

学校だより みんなの森合小

～自分でチャレンジ みんなとチャレンジ 最後まで～

NO. 9 【授業参観日号】

令和3年7月16日

発行者

森合小学校長 渡邊かほる

1学期の振り返り ご来校ありがとうございます

～保護者・地域の皆様は共に森合小を創っていくパートナー～



本日は、お忙しい中、授業参観及び学級懇談会のために、ご来校いただきまして誠にありがとうございます。今日の子どもたちの学校での様子はいかがでしょうか。他のお子さんとは比べることなく、大人にとって例え小さなことでも、当たり前と捉えずに、目に見えない子ども姿を見取り認めて、帰宅後に「～という所がよかったよ。」「～に頑張っていることが分かったよ。」など伝えていただければ幸いです。

1学期の振り返り

教職員全員で、1学期振り返りをしております。保護者の皆さんも、「子どもや学校に対するご自身の働きかけ等」について、見つめていただければ幸いです。

校訓 「拓」の精神 「和合」の心
教育目標 ○考え深い子ども ○心ゆたかな子ども ○たくましい子
合い言葉 自分でチャレンジ みんなとチャレンジ 最後まで
～ 挑戦・協力・根気 ～
知 目的を実現するために、本気で学ぶ子ども
徳 自他のよさに気付き、互いに協力し合う子ども
体 元気に生活し、楽しく運動に取り組む子ども



※4月に提示した内容について実現を目指した働きかけを意識して行った (◎) まあまあ (○) あまり (△) まったく (×) または よく理解していた (◎) まあまあ (○) あまり (△) まったく (×)

() 森合小学校は どの子にとっても 安心できる居場所

() 違いや多様性を認め合う・楽しむ
() 一人一人違うのが当たり前
() 自分も人も大切

() 子どもが育つ学校
() 子どもを育てるからの脱却
() 指示や指導ではなく 教師や大人は伴奏者

() 学びは楽しく、興味をもつ
() 「わからない」と言える
() 見える学力と見えない学力

() 結果ではなく 過程が大事
() 結果だけで評価しない
() 試行錯誤、失敗が大事
() トライ&エラー

() 教室以外の居場所
() 相談室、保健室、校長室、事務室、廊下等 子どもが安心する場所

() 全職員が担当
() 全職員で対応

【大切な約束】

() 自分がされていやなことは人にしない、言わない
自分や友達の心や体は大切



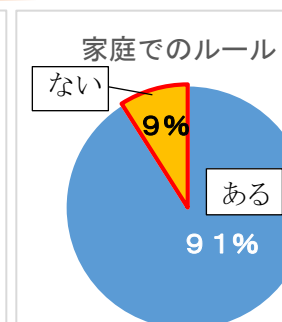
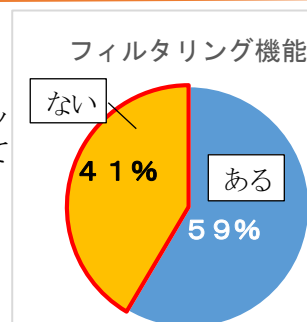
- () 子どもの声に耳を傾けます。そのために、忙しいを無くし、ゆとりのある学校生活となるよう改善します。
- () 【働き方改革】 未来の創り手となる子どものために、保護者や地域の皆さんと共に、真剣に具体的に取組む
- () 新型コロナウイルス感染予防に努めます。検温・マスク着用・手洗い・換気・三密回避などを徹底します。

<ネット・SNS アンケート結果より>

～ 早急に お願いしたいこと～

5月実施のアンケートの結果から、子どもが、危険にさらされていることがわかりました。(右グラフ) 近年、ネットやSNSでのトラブルが増え、「いじめ問題」に発展しています。学校では防ぎきれない社会問題です。次の2点について、まだ、対応していないご家庭は、早急な対応をお願いいたします。この2点は、100%を目指します。

- ① フィルタリング機能を付けること
- ② ご家庭のルールを決めること



令和3年5月末実施

※裏面に、保護者向けのネット・SNSに関するリーフレットを掲載しました。ご覧ください。

我が家のルール

子供の主張、保護者の意見を出し合おう

新しく自分のスマホ、自分のゲーム機、自分のタブレットを持つときは、ルール作りのベストのタイミングです。ポイントは、親子双方が自分の意見をしっかりと出し合うことです。お互いが主張し合い、少しずつ妥協しあって決めたルールは長続きします。逆に一方的に保護者が勝手に決めたり、子供のいないりになったりすると、長続きしません。お互いが納得し、双方が尊重できるルール作りをすることが重要です。

ルールが守れなかったり、子供が成長したり、生活習慣が変わったりするタイミングで、ルールの見直しをすることも大切です。

他律から自律へ

ルールを決める一方で大切なのが、自然体験や身体を使って得る実体験、人とのリアルなコミュニケーションです。様々な経験を積むことがインターネットの中で困ったり迷ったりしたときの、適正な判断力につながります。

乳幼児のネットルールは保護者が決める「他律」ですが、小学生、中学生、高校生と年齢が上がるにつれて少しずつ自分でルールを考えることができるようになっていき、大学生や社会人になると「自律」し、自分で管理します。

わたしたち大人は、子供たちが少しずつ自律していけるように手を貸してあげましょう。

いざというときの相談窓口・参考リンク

相談窓口	子どもの人権110番 (法務省・地方自治体)	参考リンク
#9110 警察相談専用電話	子どもの人権110番 (法務省・地方自治体) 子どもの人権110番に関する緊急ダイヤルです。虐待・児童虐待・児童相談所への通報・児童相談所への相談・児童相談所への相談・児童相談所への相談など、緊急ではない相談の窓口です。	子どもとネットのトリセツ 制作：一般社団法人安心ネットづくり推進協議会
188 消費者庁 消費者ホットライン	インターネット 人権相談 インターネットでは親戚などにはインターネットでも相談を受け付けています。 https://www.jinken.go.jp/	匿名相談オンライン SNSの誹謗中傷 あなたが思うもの、失うもの #NoHeartNoSNS
違法・有害情報相談センター	インターネット上の誹謗中傷に関する相談窓口のご案内 インターネット上の誹謗中傷に関する相談窓口のご案内	スマホのある時代の子育てを考える (お役立ち情報) 制作：NPO法人A-Lunch
児童相談所	児童相談所 児童相談所は児童虐待や児童の安全に関する相談を受け付けています。インターネットに関する相談や、インターネットに関する相談や、インターネットに関する相談や、インターネットに関する相談など、緊急ではない相談の窓口です。	誹謗やセキリティ侵害被害者 110番 制作：一般社団法人安心ネットづくり推進協議会
児童相談所	児童相談所 児童相談所は児童虐待や児童の安全に関する相談を受け付けています。インターネットに関する相談や、インターネットに関する相談や、インターネットに関する相談や、インターネットに関する相談など、緊急ではない相談の窓口です。	スマートフォンの危険なアプリ Nintendo あまもUSwitch 制作：任天堂株式会社

ネット・スマホのある時代の子育て

保護者が知っておきたい 4つの大切なポイント

児童・生徒編

学習面での活用が一気に増えてきたインターネットやスマートフォン。コミュニケーションや息抜き等、生活をサポートする道具だからこそ、トラブルを避けて上手に使いこなすスキルを身につけてほしいものです。

Point1 長時間利用の中身に着目!

連絡?遊び? それとも勉強? どれだけ使っているかわかりませんが、何にどう使っているかが、肝心です。

Point2 オンラインゲームで起きているトラブルとは!?

ゲームの中でつながる仲間との関係。だからこそトラブルや犯罪に巻き込まれることも!

Point3 SNSで誹謗中傷? いじめ?

仲間外れや個人攻撃などの被害・加害を防ぐためには?

Point4 写真・動画の安易な投稿が危険を招く!

自撮り写真の投稿・送信や動画投稿に起因するトラブルとは?

子供たちの使い方やネットトラブルの現状を知り、助言や話し合いの際にお役立てください

Point1 時間の長さだけでなく中身に着目

何にどのくらい使っているのかを、一緒に確認しましょう

学習での活用も増え、子供のインターネット利用時間はより一層長くなっています。いつまでやっているの?と驚かされるに陥らず、子供がどんな使い方をしているのか、内容と時間を把握することが大切です。

どのカテゴリにどれくらい使ったかを確認するにはスクリーンタイム (iPhone) やデジタルウェルビーイング (Android) が便利です。

利用時間や就寝時間を設定すれば、無意識の使い過ぎも防ぐことができますので、上手に活用しましょう。

スクリーンタイム (iOS12以上) Digital Wellbeing (Android10以上)

これらのツールを活用するための大切なポイントは、保護者の側に必ず準備する必要があります。親子で一緒に「利用時間のコントロール」をやってみませんか?

Point3 SNS等でのいじめや誹謗中傷、どう対処すべき?

相談しやすい親子関係をつくり、話はじっくり聞いてあげる

子供が一人で悩みを抱えないためにも、普段から「困ったら何でも相談のよ」と声をかけましょう。そうすると子供は相談しやすくなります。

相談されたときには、子供の話をじっくり聞いてあげてください。保護者が大騒ぎしてしまうと、相談しにくくなってしまいます。じっくり聞いたら「どうしたい?」と聞いてあげましょう。

誹謗中傷等のやり取りは、スクリーンショットなどで保存し、いつ何が起きたのかを明確に記録しておくこと対応がしやすいです。必要に応じて専門家にアドバイスを求めましょう。(相談サイトは裏面に掲載)

気軽な投稿が、他人を傷つけるおそれがあること、インターネットにあげた写真や動画等は、後から削除ができないことも、子供に伝えましょう。

Point2 ゲームプレイは“個”から“グループ”へ

保護者と一緒にプレイしなくなる時期こそ、しっかり見守る

一人で、リアルな友達と、ネット上のグループで協力しながら、ゲームは多様な遊び方があります。

高難関やID乗っ取り等のトラブルだけではなく、誘う・誘われない、アイテムをもらった・もらわれないといった、一人だけの非対面プレイになったりといったことも生じています。また、プレイ中のチャットや音声をやり取りから、個人情報が出たり、誘い出されたりすることもあります。

年齢区分 (レーティング) とは? おもちゃの対象年齢と同様に、ゲームのソフトやアプリにも「〇歳以上」という対象年齢の区分があり、マークで表示されています。ソフトのパッケージやアプリの入手画面で必ず確認しましょう。

ゲームソフトの年齢区分 (例)

スマホアプリの年齢区分 (例)

保護者は、子供がどんなゲームをしているか知っておくとともに、対象年齢に達しているかを確認したり、スマホやゲーム機のペアレンタルコントロール機能を活用したりして、子供の安全利用を見守りましょう。

Point4 動画や写真は危険がいっぱい

動画や写真の投稿で注意すること

面白がって撮ったり、友人・知人の情報が含まれるものを投稿することで、不快感やトラブルを生むこともあります。どんな投稿がトラブルの原因になるか親子で考えてみましょう。

写真や動画の投稿サービスアプリの多くは中学生以上が対象。年齢に満たない子供の投稿は、保護者のアカウントと一緒に行うようにしてください。

撮った写真、送った写真は、すべて違法行為。どんなに早く削除しても、どこにおき置かれたとしても、18歳未満の子供の顔は、「晒しちゃダメ!」「写ってる顔でもダメ!」「送っちゃダメ!」「顔写りもダメ!」「顔写りもダメ!」全部ダメ!

フィルタリングの活用

あんしんフィルターやフィルター等によって、有害・不適切なサイトへのアクセスやアプリの利用を制限します。お子様の成長に合わせてコンテンツに設定でき、カスタマイズもできます。

なお、有害・不適切なサイトへのアクセス制限は、スクリーンタイム (iPhone) やファミリーリンク (Android) のコンテンツ利用の制限でも設定可能です。

※フィルタリングの他にも、顔の写真等と考えられる不適切な画像をAIで検知し、撮影できなくなる機能やSNSへの投稿内容によって、保護者にアラート通知する機能もあります。